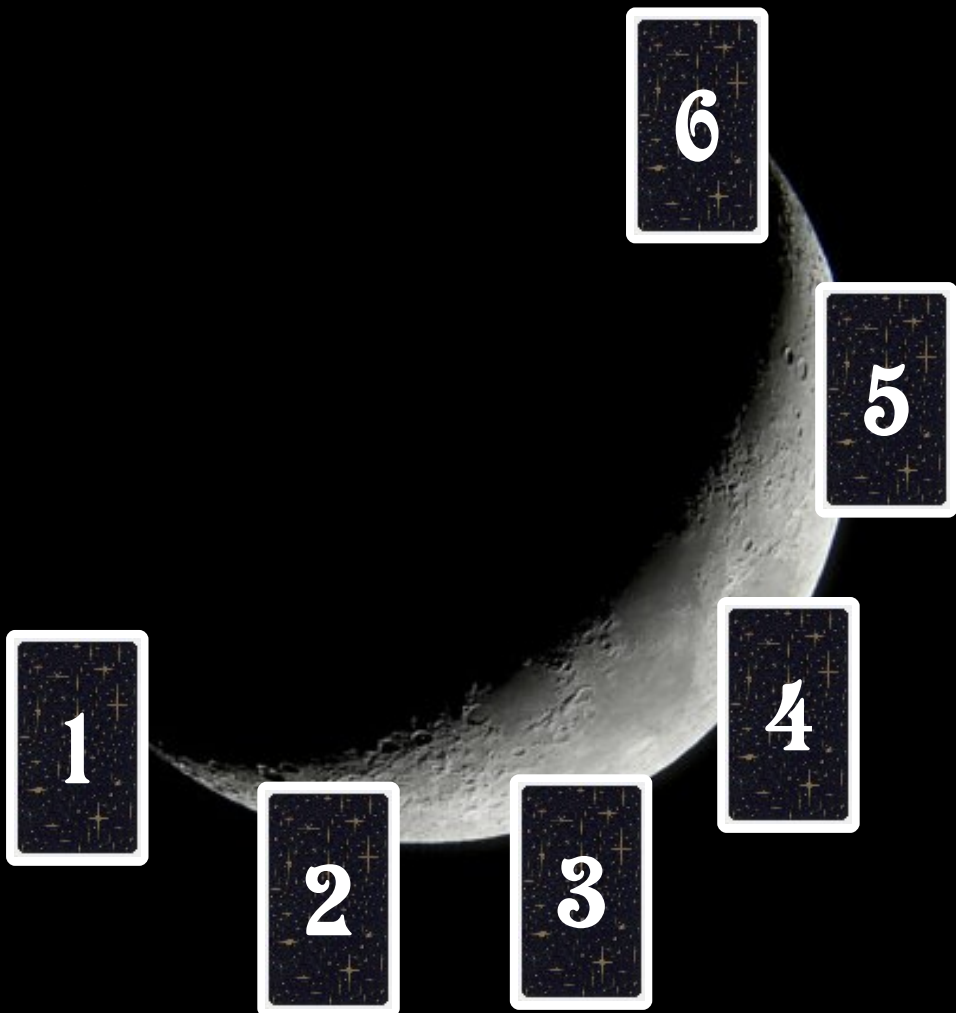


# アポロの タロット占い

Tarot FILES #103



こんにちは、Aさん。

タロット占い師のアポロです。

前回の占いの続きとしてご質問にお答えします。

ご質問は、「このまま現状維持を目指し、僕が感情を押し殺してBさんと接し続けた場合の、彼女の僕に対する気持ちの変化」ということでした。

「感情を押し殺す」という条件付きで、Bさんの気持ちの変化に焦点を当てて占うことになります。

時間的な流れを見る占いなので、占い方は前回と同じ三日月形のスプレッドを用います。条件を変えることで同じ月でも全く異なる姿に見えてくることでしょう。

タロットプロファイルについても前回同様に示しておきます。前回作成したもののコピーです。

# Aさんのタロットプロフィール

生年月日 一九六\*年\*月\*日

星座 水瓶座（宝瓶宮）

ゾディアックカード **XVII 星**

パーソナリティーカード **IX 隠者**

ソウルカード **IX 隠者**

デイスティニーカード **剣の7**

イヤーカード（二〇一四年） **IX 隠者**

# Bさんのタロットプロファイル

生年月日 一九七\*年\*月\*日

星座 獅子座 (獅子宮)

ゾディアックカード VIII 力

パーソナリティーカード III 女帝

ソウルカード III 女帝

ディステイニーカード 棒の5

イヤーカー্ড VII 戦車

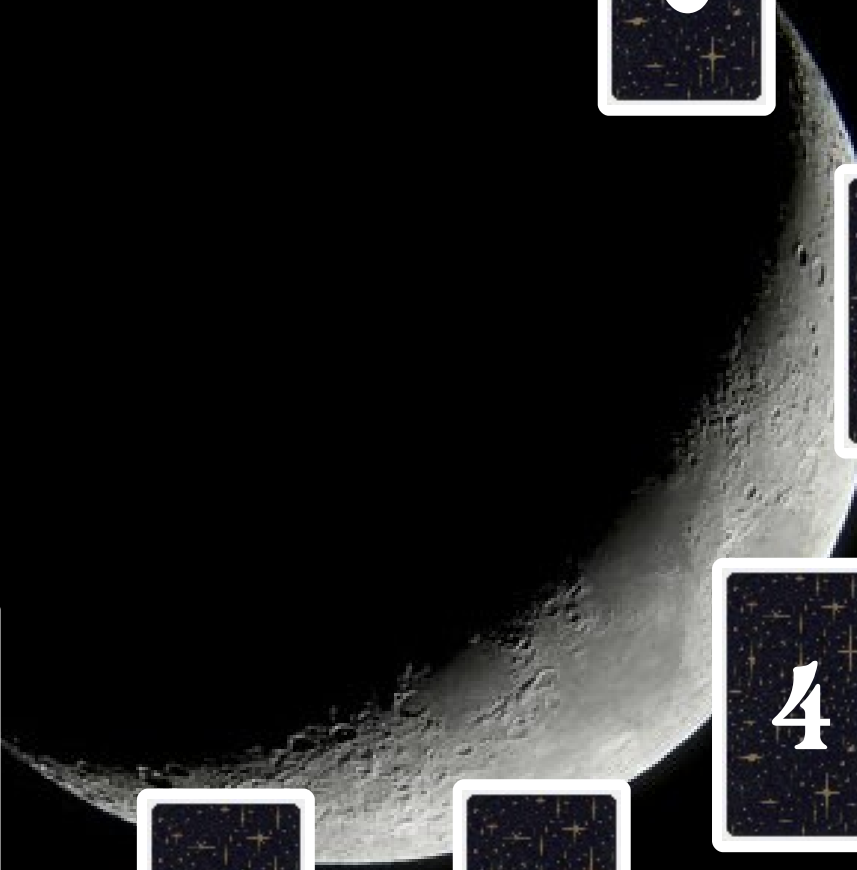
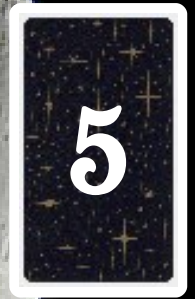
イヤーカー্ড (二〇一四年) VIII 力

では、タロット占いに入ります。

使用するタロットカードは全部で七十八枚です。カードをシャッフルし、六枚のカードをめくりまます。前回と同じく三日月形の「**クレセント** **ムーン** **スプレッド**」に従って並べます。

一枚目のカードから順番に見てゆきます。

カードの示すままをお伝えしましょう。





一枚目は遠い過去を示します。

「ペンタクールの7」が出ています。



山のように実った作物を目の前にして一人の農夫が立っています。

収穫した作物が足元に一つだけ転がっています。そこで手を休めて残された作物を見つめています。

前回の占いと同じ時間軸で見てゆくと、ここで示されているのも二年前から数週間前までのこととして解釈することになります。

今回は関係性ではなく気持ちに焦点が当てられているということに注意して見てゆきます。

ペンタクルスというシンボルが示すのは物質的なもの、仕事、お金、血縁関係などです。職場の人間関係として解釈することもできます。

大量の作物は想像以上の成果を意味し、それが農夫の労働のキャパシティを超えていたことを表していません。

それがBさんから見たAさんの印象だと考えると、彼女の何倍もの仕事量をこなす有能な人物だと思われていたということでしょうか。勤勉な人物として尊敬されていたと思われま

二枚目は近い過去を示します。

「**棒の9**」が出ています。



棒を杖にして、もたれかかるようにして立つ人物がいます。頭には白い包帯を巻いています。

後ろにはたくさんの棒が地面に垂直に立てられ、柵を作っています。

連絡先の交換をした後に、彼女が警戒的な態度に変化した時期を表しています。

柵のように見える物は、外敵から身を守るための防御壁のにも見えます。怯えるような警戒心を示しているようには見えませんが、外敵か何かが来るのを待ち構えているようではあります。

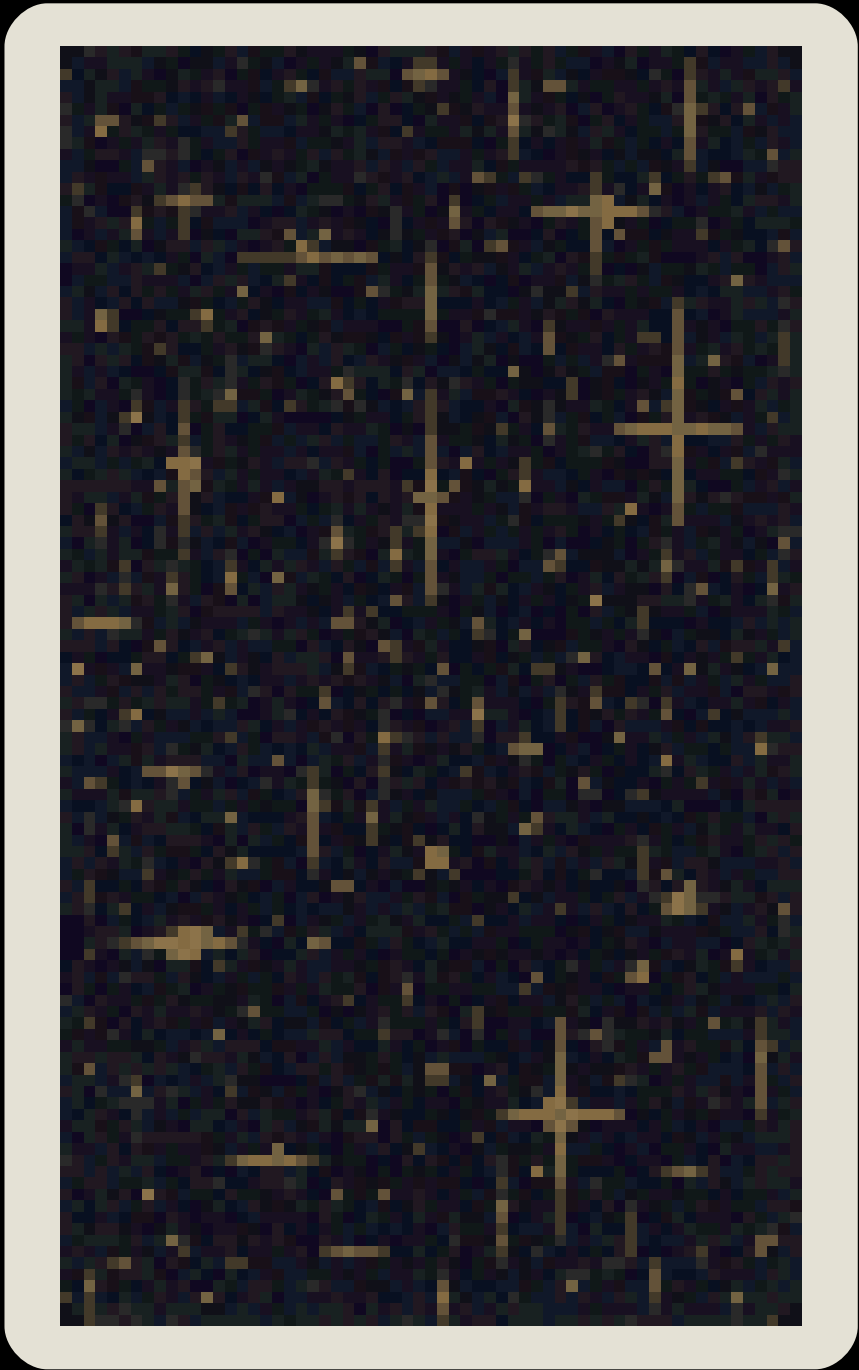
連絡先を交換したことで当然ながらAさんからの連絡が来る可能性があったわけで、彼女がそれを意識していたことは間違いありません。ただ、彼女としては連絡先

を教えたということが「柵」として描かれる「策」であり、敵を陥れるための「罨」でもあったのです。あとはその罨に獲物がかかるのを待つだけというのが彼女の心境だったのでしょう。

罨を仕掛けた彼女としては自分から動くわけにはいかないのです、Aさんの様子をうかがい、どう動くかを観察しているしかなかったのです。そのような彼女の態度が警戒心を示すような、よそよそしいものに見えてしまったのではないのでしょうか。

この時の彼女がAさんを意識していたことは間違いありませんが、恋愛感情のような特別な感情を抱いていたわけではないでしょう。Aさんがどのような人物なのかを観察していたただけなのかもしれません。Aさんの反応次第で彼女の気持ちも変化することになります。





三枚目は最近の出来事を示します。

「**棒の5**」が出ています。



五人の男たちが一か所に集まり、それぞれに棒を持ち、頭上に振り上げたり、振り回したりしています。

お互いを意識し、戦っているように見えます。

彼女の態度が元に戻って、以前のような親しい関係を  
取り戻した時期と考えます。

先ほどの「**棒の9**」で仕掛けた罫で彼女が見極めた物  
に対する心境の変化を表していると解釈すればよいで  
しょう。

カードの中の人物は戦っているように見えますが、必  
ずしも敵対意識をもって争っているというわけではあり  
ません。ライバルが切磋琢磨する姿と見ることもできれ  
ば、仲間同士でじゃれあっているだけのようにも見える

し、ダンスでも踊っているかのようでもありません。少なくとも背を向けて逃げたり拒絶したりしているわけではありません。

飲みに行くという話がきっかけだったということもありますが、もっと積極的に交際したいという気持ちが表れていると言えるでしょう。

連絡先を交換したばかりのころは、とりあえず様子を見ることがあってAさんの出方を見ていたわけですが、その後、彼女からのアプローチに転じた結果が「親しみのあ

る態度」ということになります。

彼女としては、自分に交際の意味があるということをお伝えするために親しみのある態度を示しているのです。

ただ、前回の占いでは「**ペンタクルスの4**」という保守的な態度が示されており、無謀な行動で関係を壊すことができずにいます。気持ちとしてはもっと積極的に付き合いたいのにも、その気持ちははっきりと表に出せないわけです。親しみのある態度は、彼女なりの精いっぱい意思表示と言えるのではないのでしょうか。

なお、このカードはBさんのデイスティニーカードとして示されています。彼女にとっては勝負のカードと言ってもいいでしょう。この時の彼女の気持ちをくみ取ることができれば、理想的な関係を築くこともできるかもしれません。

このカードの影響は今でも続いているはずですが、もしそうだとすれば今回の占いの前提条件としての「感情を押し殺す」という態度では彼女の期待に応えることができないということになるでしょう。

四枚目は現状を示します。

「**棒のエース**」が出ています。





一本の棒を握る手が雲の中から出ています。

棒からは枝が伸び、緑の葉が付いています。

大地には生命が宿り、川が流れています。

丘の上に高くそびえる城が見えます。

二枚目のカードから三枚連続で「**棒**」のカードが続いていますが、棒が示すのは意欲や欲望、衝動、行動力などであり、「**エース**」として出たこのカードは棒によって示される事柄の影響がピークに達していることを意味しています。Bさんの中でAさんを意識する気持が最も高まっている時期と言えるでしょう。見方を変えれば、この先はその気持が衰えてゆくということにもなります。彼女の気持をつかみたいと思うのであれば、今が最大のチャンスと言えるでしょう。

そのようなチャンスの時期でありながら感情を押し殺してやり過ごそうとするのは、彼女の期待を裏切ることになってしまいます。

タイミングを逃して後になって自分の気持ちを伝えたとしても、そのころには彼女の気持ちも冷え切っていることでしょう。



五枚目は近い将来を示します。  
「**カップの2**」が出ています。

カップを持った男女が向き合って立っています。お互いのカップを相手に向けて差し出しています。

二人の間には蛇の巻き付く杖が浮かんでおり、その上部には翼の生えたライオンの頭が乗っています。

ここから先は、あくまで「感情を押し殺す」という条件付きでの気持ちの変化を占うことになります。よって、前回の占い結果とは矛盾が生じたりして、関連付けて読み取ることができない場合もあります。

（前回の占いでは最終結果に「**棒のキング**」が出ており、Aさんは「感情を押し殺す」という行動をとらないことになっています。）

向かい合う男女はAさんとBさんですが、手にしたカップは感情を表し、気持ちを通じ合う暗示とも受け取れます。

二つのカップは前回の占い結果にも「**XIV 節制**」の中に描かれており、やはり心の交流が暗示されていました。

Aさんが感情を押し殺したまま彼女と接し続けたとしても、お互いの気持ちを通じ合う可能性があるということでしょうか？ そう考えても間違いはないでしょう。

しかし、それがお互いに望んだ結果とは限りません。

まず、彼女の立場で考えれば、「**棒**」のカードで示される積極的な交流を望んでいたにもかかわらず、その思いは成し遂げられないことになります。

Aさんの立場で見ると、「感情的な本音としては、セックスフレンドのような関係になりたいと願っています」と言っておきながら、その欲望は満たされないことになります。



結果的に、お互い本音でぶつかり合うことができず、  
気持ちの表現も表面的なものにとどまり、社交辞令的な  
付き合いになってしまっただけなのではないでしょうか。

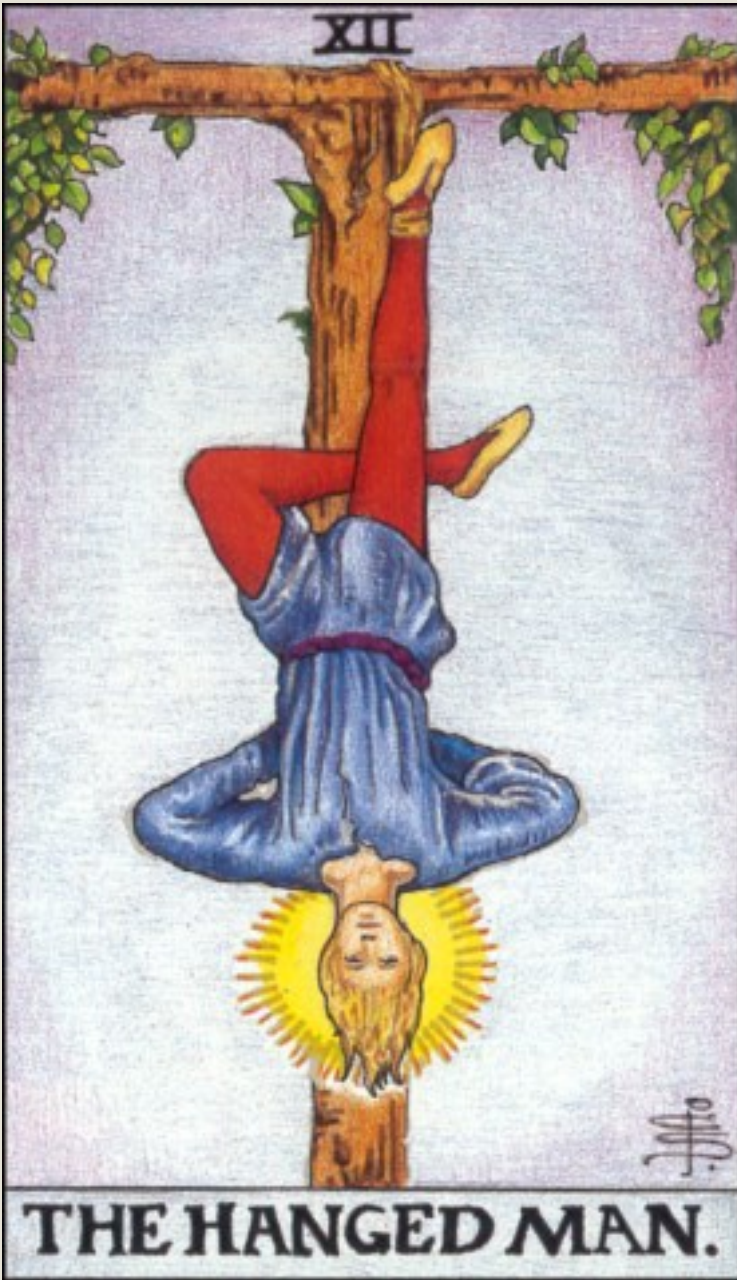
このカードの印象もどこか形式ばっていて、腹を割っ  
て語り合っているようには見えません。前回示された

「**Ⅱ 女司祭長**」のような割り切った関係にすらなれ

ず、他人行儀な、よそよそしい関係になってしまいそう  
です。

六枚目は最終結果を示します。

「XII 吊られた男」が出ています。



木の柱に片足を括り付けられ、逆さづりにされた男がいます。

両手は背中の中の後ろに隠されています。

頭の周りは光り輝いているように見え、彼の表情は穏やかで、苦痛にゆがんでいるようには見えません。

男が吊るされている木の柱は、「**棒**」のカードによって示されていた彼女の積極的な気持ちを暗示しています。そこに逆さづりにされているということは、気持ちが封印され、思いが成し遂げられずにいることを表しています。

それでも完全にあきらめたわけではなく、期待する気持ちが残されているので、頭の周りに光が差し、穏やかな表情を見せているのです。

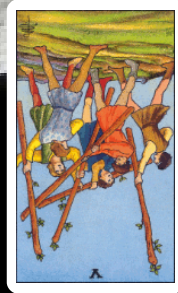
Aさんが感情を押し殺して彼女と付き合っただとして、いつかは欲望をあらわにして積極的な交際を求めてくることを期待し続けるということでは。

見ての通り、彼女は手も足も出ません。ただ待つことしかできないのです。彼女からアプローチしてくることを期待しても無駄でしょう。

以上ですべてのカードを読み終わりました。

最後に全体の傾向を見ておきます。

大アルカナは「**XII 吊られた男**」の一枚だけとなります。今回の条件で占うことの意義がそれほど重要ではないということが言えますが、それでもゼロではないので、選択肢として考慮してもよい条件の一つであると言えるでしょう。



小アルカナは「**棒**」が三枚出ていることが大きな特徴であり、彼女の気持ち非常に積極的にあることがうかがえます。

逆に一枚も出ていないのが「**剣**」のカードであり、理性の働きが弱く、欲望に偏りすぎていると言えます。

カードの正逆は、正位置が二枚、逆位置が四枚となっており、状況はネガティブに大きく傾いています。今回の条件に従って行動することは、お互いの関係を良好にするものとはいいいがたいということになるでしょう。よ



りよい関係を築きたいと思うならば、別の条件を選択すべきということになりそうです。

占い結果は以上です。

二〇一四年五月七日

タロット占い師 アポロ